

特別展「貝塚市の絶滅危惧種と外来種」

会場：自然遊学館特別展示会場（元関空交流館）1階

期間：2012年6月1日～6月30日（月・金・土・日曜日）

1. 趣旨

今回の特別展のタイトルは「貝塚市の絶滅危惧種と外来種」です。絶滅危惧と外来種の侵入という別々のことを一緒に扱っているのかと思う方もいるかもしれません。あるいは、外来種が在来種を絶滅の危機に陥れているのかと思う方がいるかもしれません。

外来種が在来種を脅かす例も少しはありますが、絶滅危惧のほとんどの場合は、宅地開発、圃場整備、森林伐採、池沼の埋立、河川改修、海岸の埋立など、私たち人間による環境の大規模な改変によって、生きものの棲み場所が奪われることによって引き起こされています。

また外来種の侵入も、私たち人間や物資の移動などの活動が他の自然の変化より桁外れにスピードが速いことが原因です。

絶滅危惧と外来種の侵入の問題は、無関係でもなく、因果関係にあることも少なく、私たち人間の活動が生物と環境から構成される生態系に影響を与えて変化させている2つの側面と言えます。

今回の特別展では、貝塚市の絶滅危惧種と外来種を紹介し、このような問題が起こる原因や対処方法について考える機会を提供できればと考えています。

2. 展示パネルリスト

自然界での種の絶滅

人間が引き起こす絶滅—環境の改変

人間が引き起こす絶滅—採集と攪乱

植物の遷移による絶滅

植物の遷移による絶滅—人間の活動の影響

大阪府および貝塚市で確認されている生物の種数とレッドリスト種

特別展「貝塚市の絶滅危惧種と外来種」

あなたは絶滅危惧種と外来種のどちらの味方ですか？



会場：自然遊学館特別展示会場（元関空交流館）1階
期間：2012年6月1日～6月30日（月・金・土・日曜日）

自然界における分布域の拡大
 分布域の拡大ー人間の活動の影響
 地球をかき回す人間の活動
 特定外来生物と要注意外来生物
 外来種が生息していても良い？
 外来種がなぜいけないのか？
 外来種問題の解決のためには？
 環境省 RDB と大阪府 RDB のランクの説明
 貝塚市の絶滅危惧種ー哺乳類と鳥類
 貝塚市の絶滅危惧種ー爬虫類と両生類
 貝塚市の絶滅危惧種ー淡水魚と貝類
 貝塚市の絶滅危惧種ー甲殻類
 貝塚市の絶滅危惧種ー昆虫
 貝塚市の絶滅危惧種ー植物
 二色の浜の海浜植物
 貝塚市で確認されている特定外来生物と要注意外来生物



会場の様子 1



会場の様子 2

3. 展示写真リスト

絶滅危惧種 アナグマ、トウネン、タカチホヘビ、カジカガエル、ニホンヒキガエル、コガタブチ
 サンショウウオ、ゴクラクハゼ、ハクセンシオマネキ、スミナガシ、ムカシトンボ、アカマダ
 ラコガネ、アンペライ、ナガエミクリ、ハマゴウ

外来種 カミツキガメ、ウシガエル、アメリカザリガニ、ムラサキイガイ、セアカゴケグモ、ナル
 トサワギク、アレチウリ

4. 展示標本リスト

貝塚市の絶滅危惧昆虫標本箱
 ヌートリア剥製（きしわだ自然資料館と
 大阪市立自然史博物館から借受）

オオクチバス
 ブルーギル
 チチュウカイミドリガニ
 スクミリンゴガイ

5. 展示資料

貝塚市の絶滅危惧種リスト
 全国トンボ絶滅危惧ランクマップ



ヌートリアの剥製
 左：きしわだ自然資料館より借受
 右：大阪自然史博物館より借受